

川内1号機 30年超運転認可

今月10日以降の再稼働を控えた九州電力川内原発1号機（鹿児島県薩摩川内市）について、原子力規制委員会は5日、運転開始30年を越す原発に必要な保守管理方針の変更申請を認可した。川内1号機は昨年7月に運転開始30年となっていたが、九電の書類提出の遅れなどで手続が遅れていた。認可のないまま再稼働することに対して批判する声が出ていた。